

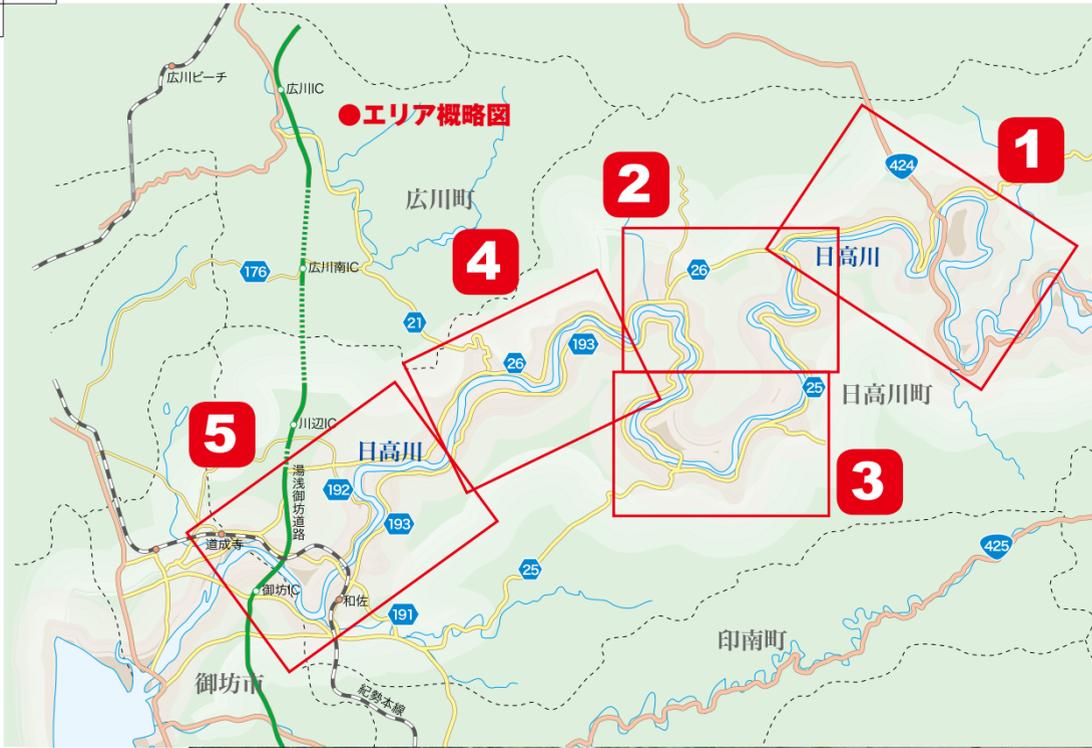
豊富な天然遡上で終盤まで大釣りできるパラダイス

ひだかがわ

日高川 ダム下

和歌山県内にかぎれば総延長が県下一の日高川の中ほど、椿山ダムから下流エリアが日高川ダム下の釣り場。御坊市を通る高速道路よりも下から友釣りが可能で豊富な天然遡上アユが目印を躍らせてくれる

解説◎廣岡保貴



最下流部の野口橋から上流方向。橋の真下に多くのアユが見えていた平成25年10月19日
川中迂回線、長子橋からすぐ下流の瀬。岩盤や大きい石が多い好ポイント



雨上がりの姉子の瀬でアクティブにオトリを泳がせ順調に掛ける廣岡保貴さん

廣岡保貴さん（左）と弟の廣岡昭典さん。わずか1時間の釣りでお2人とも20尾前後の釣果をたたき出した。

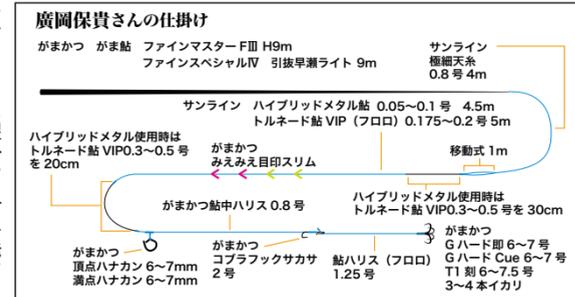
遡上が早い年は 解禁日から18cm

日高川の椿山ダムから下流域はダム上にくらべて石は小さめ。特に最下流部は女性的なやさしい流れとなりトロやチャラでの泳がせがメインという印象があるが、水量がありダイナミックな瀬釣りも可能だ。熱心な漁業組合による人工産の放流に加え、何より天然遡上の海産アユが多いので5月1日の早期解禁から11月まで安定してねえ、特に盛期から後期にかけて大釣りできる。初冬の12月になって暖をとっていたコタツを出てから川に入ってアユを釣ったなどという話もあるほど、遅い時期まで釣れる川だ。また遡上開始が早い年などは解禁当初から18cmクラスが掛かることがある。ポイントはダム直下の笠松大橋から御坊市の野口橋までの長い区間に非常に多くあり、釣り人が多い休日でも人気ポイントさえ避ければのびのびとサオが振れるのが魅力。8月になると水温が30度近くになることがありオトリ缶を深みに沈めておかないとアユが死んでしまうので注意。夏場は1尾目の野アユを素早く掛け、うまくオトリ継ぎをしたいものだ。海産メインなので人工産にくらべて追いがよく、いったん掛かりだせば入れ掛かりになる。

平水時、増水時、濁水時とすべて金属ラインで通すことも可能だが、濁水時はナイロンやフロロカーボンラインで泳がせたほうが確実に釣果はのびる。掛けバリも多めに持参し、こまめな交換がおすすめ。日高川は石に穴が開いており根掛かりが多いのも事実なので、あまりに根掛かりが多発する場合はハリ先が内向きのタイプに交換するとよいだろう。

金属ラインなら0.03〜0.15、ナイロン、フロロなら0.15〜0.25号をシーズンや状況に合わせて使い分けよう。サオもあまり硬い調子のもので、サオもかついでいけば早瀬クラスまでがオトリも弱らず使いやすい。

個人的にはダム上への釣行が多いのだが、たまにダム下でサオをだすと、海産が多いせいか非常に釣りやすく感じる。



姉子の瀬。平成25年8月25日の様子。その後の大雨、増水で川相は大きく変化している

1 笠松大橋 ～三十木橋

椿山ダムから川中迂回線手前の三十木橋までのダム直下のエリアは常にニゴリが入っているが、下流に行くほど澄んでくる。水量が豊富で川相も変化に富み日高川きっての大アユポイントが続く。特に滝頭、枯木、平岩、原日浦は好ポイント。遡上した天然アユがダムで足止めをくうので、どのポイントも魚が多い。浅間堰堤から越方発電所の放水口までは迂回線になり水量は少ないが川相は変化に富み、型、数ともに期待できる。越方放水口から平岩の間にはサオが届かない大きな淵や瀬がありアユはかなりの大型にまで成長するようだ。解禁当初から終盤までシーズンをとおして安定した釣果があるエリアである。

- 凡例**
- ㊟ オトリ店
 - ㊦ 駐車スペース
 - ★ 入川口、入川道
 - 📷 撮影場所・方向
 - WC 公衆トイレ
 - GS ガソリンスタンド
 - ㊢ コンビニ



13 工事で川の流れが左岸寄りに変わったが逆に足場がよくなり釣りやすい。型、数ともにねらえる



14 三十木橋の上下とも好ポイントで下流に堰堤があるため終盤に落ちアユが溜まり数釣れる



10 川上橋の直下は大淵で上下に瀬がある。車で河原に横付けできる楽なポイント。数釣れる



9 大きいトロ場があり魚が多く泳がせ釣り効果的



11 越方発電所放水口のすぐ上。トロ～瀬と大石が入っている好ポイント



12 下に大きな淵があり天然の大型が釣れる。数より型ねらいのポイント



㊟ 山野正博 (オトリ)

大アユポイントの枯木と平岩の間にあるオトリ店。☎ 0738-54-0459



㊟ 四季の里 (オトリ)

有田川方面に向かう国道424号の交差点にあるレストハウスでオトリも販売している。☎ 0738-56-0269



㊟ 喫茶あゆ (オトリ)

喫茶店でオトリも販売。コーヒーブレイクがてらに店主とアユ談義してみても? ☎ 0738-57-0624



4 滝頭の下瀬。ここも大型が期待できる



5 平和橋下の荒瀬は上下に大きな淵があり魚が多くダイナミックな釣りが可能



6 明神橋の上流は瀬、淵、トロと変化が多くサオ抜けが多発する好ポイント



7 分流が多い打尾。砂利底がメインだがうまく釣れば数が出る



8 水深がある瀬がメイン。金属ラインで釣ると釣りやすい



1 椿山ダムのすぐ下。天然アユがここまで遡上してくる



2 愛徳橋周辺は川相に変化があるところ。橋の下の淵にアユが溜まる



3 滝頭。岩盤底が多く、よい年は尺近い大型が釣れる



㊟ 山本志げ子 (オトリ)

椿山ダムのすぐ下にあるダム下エリアでは最上流に位置するオトリ店。☎ 0738-57-0139



日高川ダム下エリア⑥ ←日高川ダム下エリア⑤ ←日高川ダム下エリア④ ←日高川ダム下エリア③ ←日高川ダム下エリア② ←日高川ダム下エリア①



約500m

あねご かわなか 姉子 & 川中迂回線 2

たかつお 北部 & 高津尾

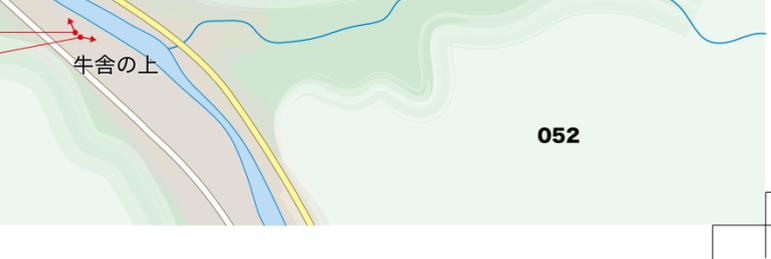
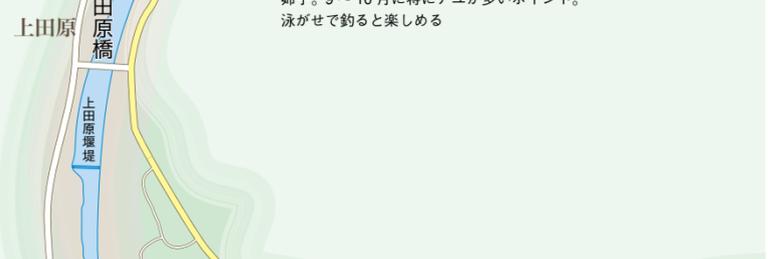
高津尾発電所の取水口がある上田原堰堤から下流、発電所の放水口までは水量が少ないう迂回線、この地図に示したのは一般に「川中迂回線」と呼ばれるエリアの北部とその前後である。

特徴としては川に架かる橋が多く、どの橋の上からでも多くのアユが確認できるほど魚が濃密であること。岩盤や分岐も多くサオ抜けポイントが得意なため、当然

たれば3ヶタ釣りも珍しくない。特に堰堤からの放水で水位が少し上がれば入れ掛かりになる。しかし逆に水位が下がった時は追いが悪くなる。高津尾発電所から船津堰堤までは水量も豊富。小石主体の瀬やト口場が多いが足場がよく河原まで四輪駆動車なら下りられる場所もあるのうれしい。

盛夏の8月になると特に迂回線では水温が非常に高くなるので、オトリ缶は日陰や少しでも深いところでも沈めておきたい。高水温時でも涼しい朝夕に釣れば好釣果が期待できる。

また、このエリア内には中津温泉 鳴滝キャンプ場などの施設もあるので家族連れで出かけても楽しい。



日高川ダム下エリア⑥ ← 日高川ダム下エリア⑤ ← 日高川ダム下エリア④ ← 日高川ダム下エリア③ ← 日高川ダム下エリア② ← 日高川ダム下エリア①



14 小出瀬はト口場、瀬肩、瀬が連続し、泳がせ、引き釣りとも楽しめる好ポイント



15 佐井橋周辺に流れの速いところはほとんどなく、川底も小砂利メインだが数が釣れる。泳がせ釣りが有利



16 佐井橋周辺に流れの速いところはほとんどなく、川底も小砂利メインだが数が釣れる。泳がせ釣りが有利



13 老星周辺は絞り込まれた荒瀬がありダイナミックな釣りができる。石も大きく増水後も期待できる



12 老星周辺は絞り込まれた荒瀬がありダイナミックな釣りができる。石も大きく増水後も期待できる



11 板野川橋周辺は小砂利とトロがメインのポイント。泳がせ釣りで広い範囲を探ると好釣果に恵まれることが多い



10 板野川橋周辺は小砂利とトロがメインのポイント。泳がせ釣りで広い範囲を探ると好釣果に恵まれることが多い



5 長子橋の上流側は特に岩盤が多く狭い流れもあり変化が多い。上下流とも数が釣れる有名ポイント



4 長子橋の上流側は特に岩盤が多く狭い流れもあり変化が多い。上下流とも数が釣れる有名ポイント



1 人気ポイントの旅石。石が大きくポイントも多く分かりやすい



2 小釜本橋の上下流は大きなト口場で下流側のほうが浅くて釣りやすい。泳がせでねらう



3 小釜本橋の上下流は大きなト口場で下流側のほうが浅くて釣りやすい。泳がせでねらう



7 ウナギの瀬周辺は流れが緩やかな場所が多く泳がせ派にはもってこいのポイント



6 ウナギの瀬周辺は流れが緩やかな場所が多く泳がせ派にはもってこいのポイント



9 ゴンボは分流が多くポイントが多い。丁寧に釣ることで数を稼げる



8 ゴンボは分流が多くポイントが多い。丁寧に釣ることで数を稼げる



055

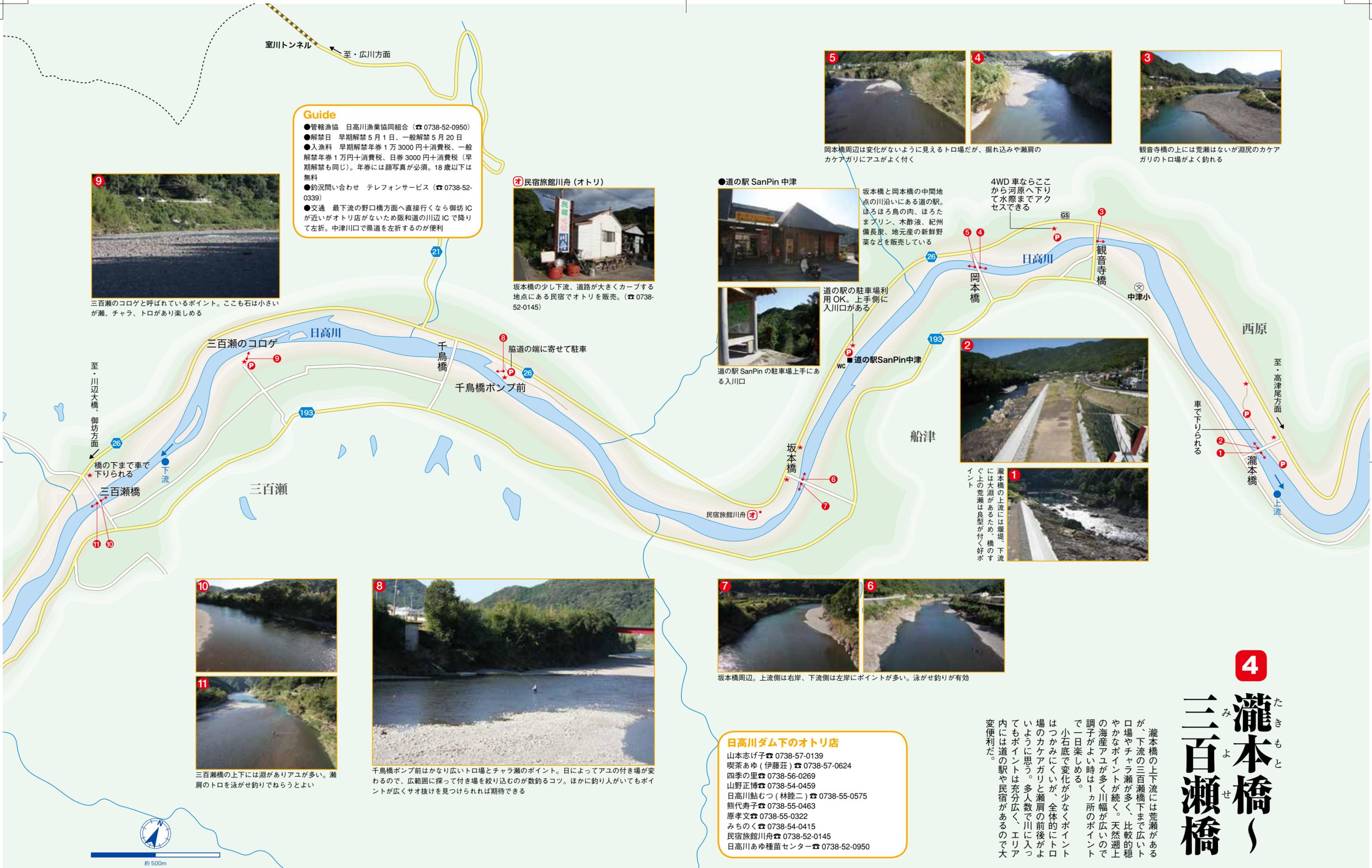
日高川ダム下エリア⑥ ←日高川ダム下エリア⑤ ←日高川ダム下エリア④ ←日高川ダム下エリア③ ←日高川ダム下エリア② ←日高川ダム下エリア①

3 川中迂回線南部

川中迂回線南部のエリア。ここも発電用取水のため水量は少ないが岩盤、ト口場、瀬、淵、瀬、チャラ瀬と川相に変化が多いところである。良型も釣れるが、どちらかというと数釣りがおすすだ。また岩盤や石が大きいところは増水後でもアカが残やすく、水が落ち着けば期待できる。天然瀬上アユも多く特に長子橋、板野川橋、佐井橋は上下流ともポイントが多く人気が高い。

初期は天然瀬上アユが小さく場所ムラがあるが盛期から終盤にかけては、どのポイントでも数釣りが楽しめる。10月に入っても若いアユがよく釣れるのがうれしい。ただ、盛期は水量が少ない分、非常に高水温になることがあるので注意すること。

054



Guide

- 管轄漁協 日高川漁業協同組合 ☎0738-52-0950
- 解禁日 早期解禁 5月1日、一般解禁 5月20日
- 入漁料 早期解禁年券 1万3000円+消費税、一般解禁年券 1万円+消費税、日券 3000円+消費税（早期解禁も同じ）。年券には顔写真が必須。18歳以下は無料
- 釣況問い合わせ テレフォンサービス ☎0738-52-0339
- 交通 最下流の野口橋方面へ直接行くと御坊ICが近いがオトリ店がないため阪和道の川辺ICで降りて左折。中津川口で県道を左折するのが便利



三百瀬のコロゲと呼ばれるポイント。ここの石は小さいが瀬、チャラ、トロがあり楽しめる

① 民宿旅館川舟 (オトリ)



坂本橋の少し下流、道路が大きくカーブする地点にある民宿でオトリを販売。☎0738-52-0145



岡本橋周辺は変化がないように見えるトロ場だが、掘れ込みや瀬肩のカケアガリにアユがよく付く



観音寺橋の上には荒瀬はないが淵尻のカケアガリのトロ場がよく釣れる



観音寺橋の上には荒瀬はないが淵尻のカケアガリのトロ場がよく釣れる

●道の駅 SanPin 中津



坂本橋と岡本橋の間地点の川沿いにある道の駅。ほろほろ鳥の肉、ほろたまプリン、木酢液、紀州備長炭、地元産の新鮮野菜などを販売している

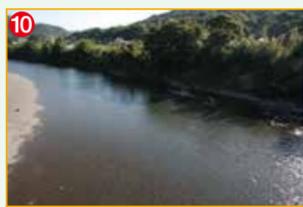


道の駅SanPinの駐車場上手にある入川口

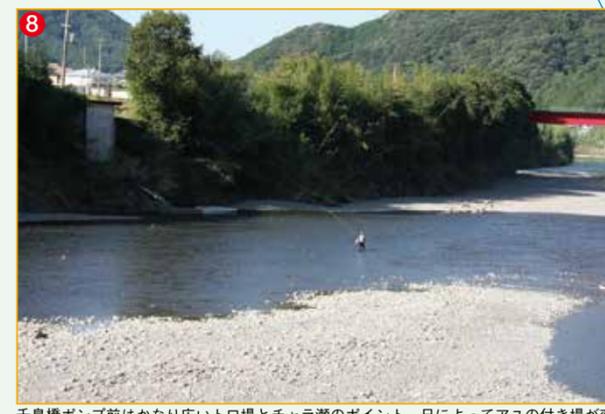
4WD車ならここから河原へ下りて水際までアクセスできる



瀧本橋の上流には堰堤、下流には大淵があるため、橋のすぐ上の荒瀬は良型が付く好ポイント



三百瀬橋の上下には淵がありアユが多い。瀬肩のトロを泳がせ釣りであらうとよい



千鳥橋ポンプ前はかなり広いトロ場とチャラ瀬のポイント。日によってアユの付き場が変わるので、広範囲に探って付き場を絞り込むのが数釣のコツ。ほかに釣り人がいてもポイントが広くサオ抜けを見つければ期待できる



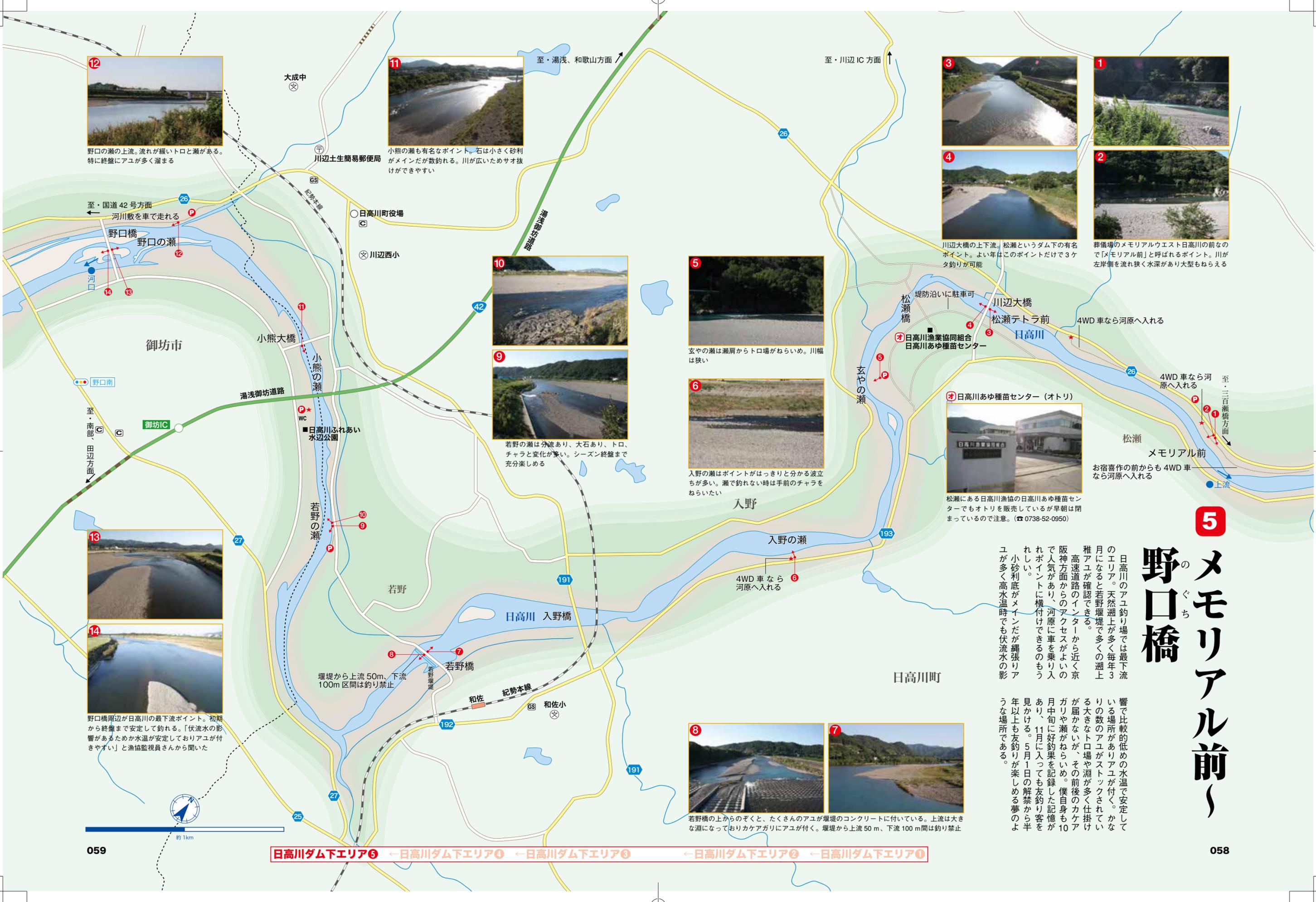
坂本橋周辺。上流側は右岸、下流側は左岸にポイントが多い。泳がせ釣りが有効



- 日高川ダム下のオトリ店**
- 山本志げ子 ☎0738-57-0139
 - 喫茶あゆ (伊藤荘) ☎0738-57-0624
 - 四季の里 ☎0738-56-0269
 - 山野正博 ☎0738-54-0459
 - 日高川鮎むつ (林睦二) ☎0738-55-0575
 - 熊代寿子 ☎0738-55-0463
 - 原孝文 ☎0738-55-0322
 - みちのく ☎0738-54-0415
 - 民宿旅館川舟 ☎0738-52-0145
 - 日高川あゆ種苗センター ☎0738-52-0950

4 瀧本橋
たきもと
みよせ
三百瀬橋

瀧本橋の上下流には荒瀬があるが、下流の三百瀬橋下まで広いトロ場やチャラ瀬が多く、比較的穏やかなポイントが続く。天然瀬上の海産アユが多く川幅が広いので調子がよい時は1カ所のポイントで一日楽しめる。小石底で変化が少なくポイントがつかみにくいが、全体的にトロ場のカケアガリと瀬肩の前後がよいように思う。多人数で川に入ってもポイントは充分広く、エリア内には道の駅や民宿があるので大変便利だ。



野口の瀬の上流。流れが緩いトロと瀬がある。特に終盤にアユが多く溜まる



小熊の瀬も有名なポイント。石は小さく砂利がメインだが数釣れる。川が広いのでサオ抜けがしやすい



川辺大橋の上下流。松瀬というダム下の有名ポイント。よい年はこのポイントだけで3ヶタ釣り可能



葬儀場のメモリアルウエスト日高川の前なので「メモリアル前」と呼ばれるポイント。川が左岸側を流れ狭く水深があり大型もねらえる



4WD車なら河原へ入れる



4WD車なら河原へ入れる



若野の瀬は分流あり、大石あり、トロ、チャラと変化が多い。シーズン終盤まで充分楽しめる



玄々の瀬は瀬肩からトロ場がねらいめ。川幅は狭い



入野の瀬はポイントがはっきりと分かれる波立ちが多い。瀬で釣れない時は手前のチャラをねらいたい



4WD車なら河原へ入れる



松瀬にある日高川漁協の日高川あゆ種苗センターでもオトリを販売しているが早朝は閉まっているので注意。(☎ 0738-52-0950)



お宿喜作の前からも4WD車なら河原へ入れる



お宿喜作の前からも4WD車なら河原へ入れる



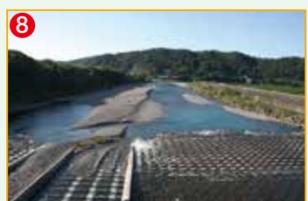
野口橋周辺が日高川の最下流ポイント。初期から終盤まで安定して釣れる。「伏流水の影響があるため水温が安定しておりアユが付きやすい」と漁協監視員さんから聞いた

メモリアル前

野口の橋

日高川のアユ釣り場では最下流のエリア。天然瀬上が多く毎年3月になると若野堰堤で多くの瀬上稚アユが確認できる。高速道路のインターから近く京阪神方面からのアクセスがよいので人気があり、河原に車を乗り入れポイントに横付けできるのもうれしい。小砂利底がメインだが縄張りアユが多く高温時でも伏流水の影響

響で比較的低めの水温で安定している場所がありアユが付く。かなりの数のアユがストックされている大きなトロ場や淵が多く仕掛けが届かないが、その前後のカケアガリや瀬がねらいめ。僕自身も10月中旬に好釣果を記録した記憶があり、11月に入っても友釣り客を見かける。5月1日の解禁から半年以上も友釣りが楽しめる夢のような場所である。



若野橋の上からのそくと、たくさんアユが堰堤のコンクリートに付いている。上流は大きな瀬になっておりカケアガリにアユが付く。堰堤から上流50m、下流100m間は釣り禁止



4WD車なら河原へ入れる

日高川ダム下エリア⑤ ←日高川ダム下エリア④ ←日高川ダム下エリア③ ←日高川ダム下エリア② ←日高川ダム下エリア①